

# 広報 心るまぎやま

古間木山  
地域づくり  
協議会  
広報部会



令和4年9月10日(土)、11時より「古間木山地区敬老会」が開催されました。

古間木山地区には88歳以上の顕彰者が20名いらっしゃいます。当日は10名の方にご出席いただき、お一人ずつ町長より顕彰状を授与されました。

町長は、「町の敬老会対象の1割が古間木山地区を占めています。昔から住み、古間木山を作り上げてきた方々なのです。百歳以上を目指し、元気に頑張ってください。」とお祝いの言葉を述べられました。

昨年の敬老会はコロナ禍により中止となりましたが、今年は短縮時間ではありましたが無事に終えることができました。

対象者の皆様には、いつまでもお元気でいらっしやることを願い、これからも古間木山地区にご指導をいただきたいと思います。



▲88歳夫婦長寿者  
若葉町  
成田謙一・玲子夫妻



◀祝辞を述べられる  
成田隆町長

# 防災訓練

9月25日(日)、秋晴れの中で、木ノ下小学校を主会場に、3年ぶりに防災訓練を行いました。

参加者は男女・子どももの総勢33名。

9時から11時まで予定通り、以下の内容で行ないました。

## ◎伝達訓練

屋外に設置している防災行政無線

千ヶ所を前日・当日の2回放送。

## ◎避難誘導訓練

放送を聞いて小学校へ移動。

## ◎応急給水訓練

校舎東側の地下貯水槽からの給水。

## ◎バケツリレー訓練

子ども達がバケツにくみ上げた水をリレー方式で渡す。



訓練の中心である応急給水訓練を、八戸圏域水道企業団の実演から開始。その後は参加者で機材の組み立てや給水を行ない、最後は子ども達によるバケツリレー訓練を行ないました。地下貯水槽は、通常50m<sup>3</sup>の容量で流れていて、断水時に入出口を閉めてポンプでくみ上げ、住民五千人が一人一日3〜5ℓを3日間使用できる量を確保しているそうです。尚、実際の断水時は企業団の給水車を北公民館に派遣して給水支援を行ないます。

人間は水が無くては生きられませんが、普段、当たり前前に使用している水の恩恵を受けています。来年以降の訓練は、派遣職員の人数を減らし、住民主体で行ないます。いざという時に、住民がすぐ対応できるようにしたいと思います。

